

「新しい理科カリキュラムへ」

—理科カリキュラム開発グループからの提案—

第6回全国大会 2004年12月25日・26日

主催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会

共催：東京理科大学大学院理学研究科理数教育専攻

会場 東京理科大学神楽坂校舎1号館

- ◆各地で活動している新しいカリキュラムを考える研究者・研究グループに、カリキュラムの具体案（教育内容）を提示していただきます。
- ◆提案するカリキュラムが実行できる教育現場をつくるための制度改革を提案します。
- ◆理科教育に携わる方に広く理科カリキュラムを考える場をつくりまします。
- ◆参加した皆さんの活動が連携を取れるような仕組み作りを考えています。
- ◆この大会を積み重ね、2006年には、教育内容の提示だけでなく授業プランや教材を含めたより具体性のある報告のとりまとめを行い、この活動の区切りにしたいと考えています。

プログラム

第1日（12月25日）13:00～18:00

◆基調講演

滝川洋二（理科カリキュラムを考える会理事長 国際基督教大学高校）

◆カリキュラム開発グループからの報告・討論—第1部—

・新しいカリキュラム全体に関わる提案

科学カリキュラム開発プロジェクト（R-プロジェクト）

小中高理科カリキュラム研究会

第2日（12月26日）9:00～17:00

◆カリキュラム開発グループからの報告・討論—第2部—

・小学校低学年のカリキュラム提案

・小学校高学年のカリキュラム提案

・中学校（+高校必修レベル）のカリキュラム提案

科学カリキュラム開発プロジェクト（R-プロジェクト）

小中高理科カリキュラム研究会

小林興（帝京平成大学）

◆全体討論

【今回発表の開発グループ紹介】

＜科学カリキュラム開発プロジェクト（通称R-プロジェクト）＞

代表 瀧川 洋二（ICU・国際基督教大学高校）／幹事 高橋 和光（小松川第二中学校）、石渡 正志（法政大学第一中・高、千葉経済大学附属高校）

日本の理科教育の現状を憂い、小中高を通した新しい科学教育のカリキュラム案を作り上げるために集まった教員、一般人も含めた研究会。2003年4月に発足し、首都圏を中心に活動している。

例会は月に1回東京で行い、カリキュラムをつくるための基礎資料の報告や分析、授業プログラムの開発や授業実践の検討を行っている。現在までに、会が目指す小中高理科カリキュラムの目的・目標から各科目（物化生地）の指導指針（指導要領レベルの内容）までの第1次案を作成している。

＜小中高理科カリキュラム研究会＞

代表 兵頭俊夫（東京大学大学院総合文化研究科）／幹事 松井吉之助（東京科学教育研究所）
1999年夏に発足。

現役の現場教師および教師経験者とともに小学校から大学を見通したカリキュラムを検討する研究会。初期には、故玉田泰太郎氏も参加した。例会は月1回東京大学駒場キャンパスで行い、毎回の参加者は10名前後、総回数は60回以上にもおよんでいる。

研究会の目標は、大学を出たばかりの教師が実際の授業で使える授業書の形にまとめること。まず、物理分野として中学校力学をまとめ、次に小学校、高校をつくる。2004年秋は、この大会における理科カリキュラム提案に向けて、小学校から中学校までの全分野のカリキュラム作成を行っている。